

# 政策シンクタンク 医療構想・千葉

## 第4回シンポジウム「子どもを支える現場から」のご案内

子どもにとって病気や障害は現代でも避けられません。そして病気や障害は、子ども自身や家族に大きな負担を強いることになります。子どもを社会全体で支えるために、私たちにどのような方策が可能でしょうか。人間には他人のために尽くすことを喜びとする利他性という素因があります。病気や障害をもつ子どもを支え、共に生きる社会を作ろうと考えるのは成熟した市民の責務です。私たち自身のシチズンシップを育て、現場の方々とともに現状を変えるためにご参集ください。

医療構想・千葉 代表 竜 崇正

### テーマ : 第1部 子どもと家族を支える医療現場からの提言

座長 黒木春郎・佐野けさ美  
障害児の在宅医療における福祉との積極的連携事例 千葉県中核地域生活支援センター夷隅ひなた所長 池口紀夫  
東京都における小児在宅医療の先進事例 みやた小児科(東京都立川市)院長 宮田章子  
当事者のまなざし 障害児の医療アクセス改善への取り組み 市川・手をつなぐ親の会 / 市川市医師会  
産科医療が抱える倫理的課題 先天異常と出生前診断を中心に 亀田メディカルセンター総合周産期医療センター長 鈴木真  
広範性発達障害 医療は教育現場にどんなサポートができるか 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児科 永沢佳純

### 第2部 現実を変えていくために

講演 児童虐待防止法制定までの具体的プロセス 前衆議院議員 保坂展人  
会場討議 現場の声が政策に実現される道筋とは

日時 : 平成22年4月11日(日)

会場 : 千葉市生涯学習センター ホール JR千葉駅徒歩7分 TEL: 043-207-5811(代)  
(<http://www.chiba-gakushu.jp/>)

開演 : 午後1時~4時半(開場:午後12時30分)

主催 : 医療構想・千葉 (<http://iryokoso-chiba.org/>)

【連絡先】TEL: 090-7270-4228 MAIL: [info@iryokoso-chiba.org](mailto:info@iryokoso-chiba.org)

後援 : 千葉県小児科医会

定員 : 300名

シンポジウム参加費 : 1000円

懇親会参加費 : 2500円(ご希望の方は下記懇親会参加に○印をつけてください)

※終了後、17時から19時まで生涯学習センター1階「ベネチアン」でゲストを囲んだ懇親会を開催いたします。

☆参加ご希望の方は**お早め**に下記にご記入の上、ファックスにてお申し込み下さい。

また、医療構想・千葉のホームページからも申し込みができます。申し込み締め切り=4月8日

**返信宛先 医療構想・千葉 FAX : 047-402-3061**

(フリガナ)  
お名前

所属

TelNo.

FaxNo.

E-Mail

※懇親会への参加もご希望の方は、右記を○印で囲んでください。 **参加**

千葉県の医療についてお考えのことなどご自由に

「医療構想・千葉」発起人: 飯田加奈恵(杏林大学 保健学部教授)、亀田信介(医療法人鉄蕉会 亀田総合病院院長)、黒木春郎(医療法人嗣業の会 外房子どもクリニック院長)、斉藤とし子(あけぼの千葉 代表)、佐野けさ美(スギメディカル看護事業開発担当部長)、鈴木陽介(研修医・Tomorrow Doctors)、田口空一郎(構想日本 政策スタッフ)、中村宏(クリニックあしたば院長)、野田 真由美(支えあう会「α」)、藤塚光慶(国保松戸市立病院 前院長)、増山茂(了徳寺大学 学長)、村上信乃(国保旭中央病院名誉院長 前全国自治体病院協議会副会長)、竜崇正(おゆみの診療所院長 前千葉県がんセンター長)